WABAS 大阪は こんなことをしています！

研究会活動

より深く研究したいテーマについて自発的に研究会を立ち上げ、調査・研究をしています。
研究会でまとめた事を政策提言に繋げていくことも活動の柱の一つです。

現在、①介護問題研究会 ②シニアライフ・サポート倶楽部 ③認知症勉強会の３つの研究会があります。

※サポート倶楽部の研究の中から「パーソナルメモ（緊急時お役立ちカード）」が生まれました。
サイズ：縦 13.5 ㎝×横 18 ㎝（二つ折り・ひも付）

講演会・シンポジウム

年に数回、よりよい高齢社会を目指して専門家を招いて公開の講演会・シンポジウムやセミナー、映画会等を行っています。

調査活動

介護保険制度の発足から改正の度に介護保険を受ける側・介護する立場の両面にたって、アンケートやヒアリング調査、ホットラインを通じて現状把握と問題点を明らかにし、当事者の視点で厚生労働省や各自治体への政策提言に生かしています。

※国・大阪府・大阪市・各種団体の助成により実施

出版活動

◆書籍

「共倒れから共立ち社会へ」（明石書店刊）	（1998 年）

◆調査報告集

「生と死」に関する意識調査報告書	（1995 年）
「介護の社会化をめざして」	（1997 年）
「明日へ向かって扉をたたくホームヘルパー」	（1999 年）
「介護保険に向けてのアンケート調査報告書」	（1999 年）
ええもん見つけよう！「豊かな高齢社会へエンパワメント」	（2002 年）
「介護保険制度下における 利用者とホームヘルパー」	（2003 年）
「介護保険ホットライン報告書」	（2010･2011･2012 年）
「介護保険制度の”生活援助“に関するアンケート調査」	（2014 年）
「介護保険制度の”生活援助“に関するヒアリング調査」	（2016 年）
「わが街の福祉を創る」(発会の集い報告集)	（1994 年）

◆冊子ほか

「高齢社会をよくする女性の会第13回全国大会in大阪記録」	（1994 年）
「介護保険のやさしいガイドブック」	（1999 年）
「巻頭言にみる歩み」～会報 50 号を記念して～	（2004 年）

※これらの出版物は会費及び寄付や国・大阪府・大阪市をはじめとする各行政機関や各種団体の助成により出版できたものです。

多世代・他団体との交流

活動の目的と問題意識が共通している団体と情報交換を行い、活動の幅を拡げています。
ドーンセンター･クレオ大阪・ヌエック等の主催事業に参加。NPO 法人「高齢社会をよくする女性の会」全国大会に毎年参加。
他団体との共同で 2017 年に介護問題ホットラインや自治体要請・ヒアリングなどを実施。

出前講座（講師派遣）

行政や各種団体等の要請を受けて、介護保険制度等、自ら勉強したことの情報を共有化するために出前講座と講師派遣を行っています。（介護保険の基礎講座など）

情報発信

定期的に年４回会報を発行。活動報告や取材記事、様々な情報を提供しています。
2018 年９月時点で第 100 号を発行。
2003 年に立ち上げたホームページは、会員自ら作成、更新・運営にあたっています。

政策提言活動

厚生労働省・大阪府・大阪府内市町村等へ提言（市民の声を届けています）。
・2002 年 坂口厚生労働大臣へ意見書
・2004 年 坂口厚生労働大臣へ提言書
・2008 年 舛添厚生労働大臣へ意見書
・2013 年 村木厚子厚生労働事務次官へ要請書提出
2014 年 衆議院厚生労働委員会・地方公聴会に参考人として参加、意見陳述しました。
また、衆参両院の厚生委員全員にアンケート報告書を送付、市民の声を届けました。

高齢社会をよくする女性の会・大阪

（略称　wabas 大阪）

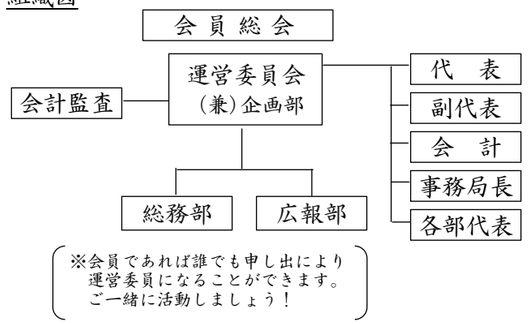
Women's **A**ssociation for a **B**etter **A**ging **S**ociety／Osaka

「高齢社会をよくする女性の会・大阪」は、「自分たちの望む豊かな高齢社会を！」と願う、多くの仲間によって発会した市民グループです。

1993 年５月に活動を始めて 27 年、介護する・介護される当事者として調査活動･政策提言などを行なってきました。今、「超高齢社会」の真只中にあって、地域で自分らしく生をまっとうするには、何が必要で、そのために何をすればいいのかが、問われています。

私たちは、当事者としての発想で、すべての世代の人が人間らしく暮らすことができる社会の実現を目指し、人権尊重と男女共同参画の視点で社会に向けて情報発信し、提言活動を続けます。

組織図



※会員であれば誰でも申し出により運営委員になることができます。ご一緒に活動しましょう！

	個　人	グループ
会　費	4,000 円／年	12,000 円／年
入会金	1,000 円	
賛助金	１口　5,000 円　（おいくらでも）	

1997 年　介護保険法成立・2000 年施行

介護保険法　第一章　第一条

この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が尊厳を保持※し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。

※平成 17 年の改正で「尊厳を保持」の文言が追加された

WABAS 大阪

高齢社会をよくする女性の会・大阪

1993 年５月 15 日設立

代表　　植本 眞砂子

事務局：Tel/ Fax：　06-6762-0550

wabas-osaka@mbm.nifty.com

http://wabas-osaka.life.coocan.jp/

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町 9-13-501
（田代方）

2020 年 10 月改訂

社会の動き（青字）と WABAS 大阪の活動（黒字）

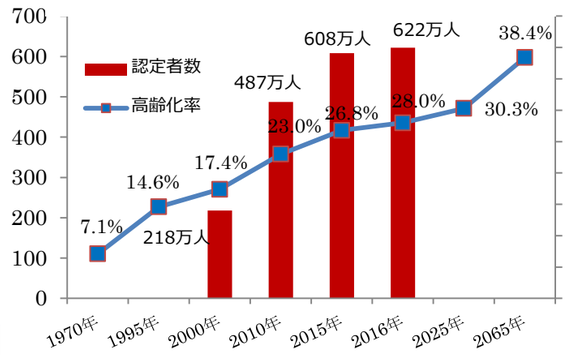
◆「会」発足までの社会の動き（1951 年～1992 年）

1951 年　社会福祉法・社会福祉事業法制定
1961 年　国民健康保険法改正　国民皆保険体制確立
1963 年　老人福祉法 ⇒72 年改正(1981 年まで老人医療費無料化)
1970 年　◆高齢化率 7%超え、高齢化社会へ突入（図 1 参照）
1971 年　高齢者雇用安定法、児童手当法成立
1972 年　有吉佐和子著『恍惚の人』“介護”が社会問題に…
1976 年　病院死が在宅死を上回る
1979 年　国際人権規約を批准
1980 年　「呆け老人をかかえる家族の会」（現・公益法人認知症の人と家族の会）発足
1982 年　老人保健法制定。国連第 1 回高齢者問題世界会議開催
1983 年　「高齢社会をよくする女性の会」発足　樋口恵子代表
1985 年　男女雇用機会均等法成立
1987 年　社会福祉法及び介護福祉士法成立
1989 年　高齢者保健福祉推進 10 カ年戦略（ゴールドプラン）制定
合計特殊出生率過去最低＝1.57 ショック（図 2 参照）
1991 年　国連総会「高齢者のための国連原則」決議採択

◆「会」の発足～介護保険導入まで(1993年～1999 年)

1992 年　「高齢社会をよくする女性の会・大阪」準備会発足
1993 年　「高齢社会をよくする女性の会・大阪」発足
代表　津村明子　会報第 1 号発行
講演会「男女で関わる介護のために～介護休業制度と家庭責任条約～」（河合徹子さん）
1994 年　フォーラム「在宅介護の問題点を考える」
代表交代　津村明子⇒竹中恵美子
◆高齢化率 14%を超え高齢社会に(図 1 参照)
高齢社会をよくする女性の会第 13 回全国大会 in 大阪
「女たちの国際家族年」・なにわシンポジウム
ドーンセンター開館 ⇒ 当会の活動拠点に
新ゴールドプラン策定　エンゼルプラン
ハートビル法（バリアフリー）
1995 年　シンポジウム「高齢者のための医療と介護」
～現場からの報告と介護保険について～
パネルディスカッション
「高齢者の自立支援を考える」～共倒れから共立ち社会へ
高齢社会対策基本法制定、世界女性会議（北京）
育児介護休業法（以後数回改正）
シンポジウム「阪神淡路大震災と高齢女性」
1996 年「介護の社会化を進める 1 万人市民委員会」発足
1997 年　シンポジウム「介護の社会化をめざして」
シンポジウム「公的介護保険に向けて在宅福祉サービスを考える」
シンポジウム「介護が必要になったらあなたはどうする？」～オーストラリアに学ぶ～
介護保険法成立・NPO 法成立
1998 年　シンポジウム
「施設介護の現状と課題」～44 市町村の実態調査より
高齢者雇用安定法改正（60 歳定年を義務化）
大阪市きらめき賞を受賞
公開講座「成年後見制度について」（辻朗さん）
ヌエック・ジェンダーフォーラムにシニアシングル勉強会（劇団シルバームーン）が参加「三途の川の渡しにて」公演
1999 年　国際高齢者年「すべての世代のための社会をめざして」
男女共同参画社会基本法制定
国際高齢者年記念シンポジウム　「自分らしく生きる・きらめいて生きる」(外山義さん・山井和則さん)
介護保険法施行を目前にして自治体のヘルパー事業からの撤退多発

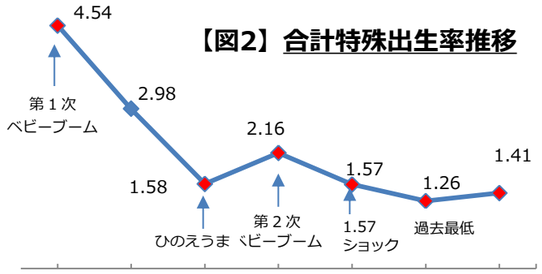
【図1】高齢化率と介護保険認定者数



平成28年版・厚生労働省要介護認定者推移より

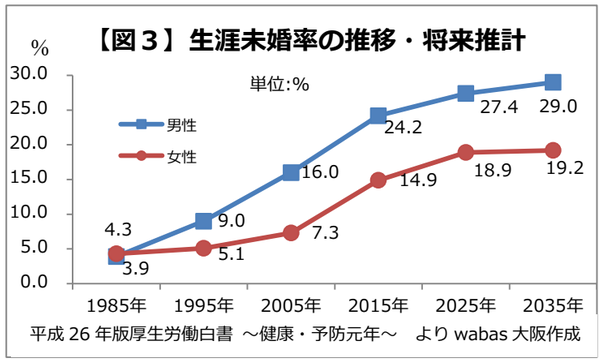
【国連 5 原則】
自立・参加・ケア・自己実現・尊厳

【図2】合計特殊出生率推移



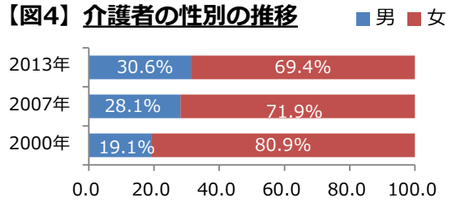
厚生労働省「平成 24 年人口動態統計月報年計(概数）」

【図３】生涯未婚率の推移・将来推計



平成 26 年版厚生労働白書 ～健康・予防元年～　より wabas 大阪作成

【図4】介護者の性別の推移



各年の厚生労働省国民生活基礎調査より

◆介護保険導入～第一次改正（2000 年～2005 年）

2000 年　介護保険法施行、成年後見制度導入
第 1 回総会記念講演
「20 世紀から何を教訓として学ぶべきか」(竹中恵美子代表)
2001 年　「成年後見と介護保険を視る･見る･診る」(本沢巳代子さん)
高齢者の居住の安定確保に関する法律（高齢者住まい法）
「高齢社会対策大綱について」閣議決定、 DV 法制定
代表交代　竹中恵美子 ⇒ 小林敏子
6 回シリーズ「検証・介護保険 1 年生の通知表」
2002 年　国連 第 2 回高齢者問題世界会議開催（in スペイン）
講演会「介護保険と介護労働」(中野麻美さん)
2003 年　ホームページ開設　略称「WABAS 大阪」に決定
10 周年記念事業「輝け！ニューシルバー」
講演会「老いて咲くたった一つの花」(樋口恵子さん)
シンポジウム「ケアワークからみる高齢社会の女性と経済」
2004 年　シンポジウム「高齢女性と社会保障」
「北京 JAC の北京＋10 に向けて」に参加
2005 年　次世代育成支援対策推進法
5 回シリーズ「改正介護保険を考える」
3 回シリーズ「年金を学ぶ」(樽谷かず子さん)

◆介護保険法 第二次改正 2006 年～ 2015 年

2006 年　介護保険法（制度）改正
国連「障害者権利条約」採択
バリアフリー新法
障害者自立支援法　高齢者虐待防止法制定
WABAS 大阪のロゴマーク決定
3 回シリーズ「認知症講座」(小林敏子代表)
3 回シリーズ「地域で守るあなたの権利」
2007 年　講師派遣事業開始（4 回実施、以降毎年数回)
◆高齢化率が 21%を超え、超高齢社会に(図 1 参照)
3 回シリーズ「認知症をもっと知ろう」(松本一生さん他)
2008 年　社会保障国民会議設置
センター存続活動「好きやねんドーンセンターの会」に参加
後期高齢者医療制度開始
講演会「介護保険は瀕死です！！」(小竹雅子さん)
パネルディスカッション「介護が突然やってきた」
～その時男たちは･･･～（西山良孝さん）
2009 年　「男性介護者と支援者のネットワーク」発足
ワンコイン連続勉強会「きちんと知ろうよ介護保険のこと」
2010 年　介護保険ホットライン（大阪・東京・富山同時開催）
2010 年～2012 年まで 3 年続けて実施
2011 年　子ども手当制度施行.児童扶養手当法改正施行
講演会「高齢者政策を男女共同参画の視点でチェック」
(植本眞砂子さん)
高齢者の居住の安定確保に関する法律（高齢者住まい法）改正　サービス付き高齢者向け住宅創設
2012 年　講演会「地域包括ケアシステムってなに?」(結城康博さん)
認知症対策推進総合戦略（オレンジプラン）策定
高齢者社会対策大綱閣議決定
2013 年　介護保険の基礎講座実施
セミナー「男の介護・女の介護」
障害者総合支援法。障害者権利条約批准
2013 年　20 周年記念・大阪市市民活動推進助成事業「介護保険の“生活援助”に関するアンケート調査」2,223 通回収
報告書作成・頒売
20 周年記念講演「在宅ひとり死のすすめ」(上野千鶴子さん)
2014 年　講演会「介護保険のゆ・く・え」(井上由美子さん)
医療介護総合推進法成立
講演会「介護保険に未来はあるか？！」(堤修三さん)
2015 年　新オレンジプラン策定
第 6 期介護保険事業計画
講演会「医療と介護の連携の今」(和田光徳さん)
大阪市市民活動推進助成事業・藤枝澪子基金事業
「介護保険制度の”生活援助”におけるジェンダー平等に関する調査・研究」ヒアリング調査実施
講演会「介護保険に未来はない？！」(水野博達さん)
講演会「認知症と共に生きる」～認知症行動マップを作ってみて（春日キスヨさん)
2016 年　シンポジウム「家族・家庭責任に再帰する“介護”の社会化」
当会共催事業(水野博達さん・長福洋子さん他)
パネルディスカッション「介護が必要になったとき､あなたは､どうする？」(結城康博さん・井上由美子さん・福井英夫さん)
講演会「小さな農と食の歓び～コミュニティハウス法隆寺 11 年の中で～」
向平すすむさん
「介護保険･新総合事業」(関本充史さん、会員の市議会議員４人)
「高齢期の家事援助を考える」～国際比較とジェンダーの視点から～（斉藤弥生さん)
2017 年　「混合介護」ってなに？（結城康博さん)
「ひとりぼっち」をつくらない～CSW の活動～（勝部麗子さん)
防災セミナー「いざという時の身の安全と暮らしを考える」
問題を共有する他団体との協働で「介護問題ホットライン」を 3 日間開設
講演＆ワークショップ「どうする医療･介護連携」(井上由美子さん)
要支援 1・2 は、各自治体の総合支援事業に移行
2018 年　第 7 期介護保険事業計画、第 7 次医療計画：介護報酬・診療報酬・障害支援同時改訂
「"介護" なんてなんとかなると思っているあなた！？今のままだと将来、介護保険はあてにできません！」(伊藤みどりさん)
「介護問題ホットライン」事業報告書完成報告･交流会
講演会「地域で”生”をまっとうするには？
～在宅医療の経験から見えてきたこと～
久坂部羊さん（医師･作家・大学講師)
講演会「安心の”社会保障”というけれど･･･？！
～世代間の壁を越え、ジェンダー視点から考えよう～
北明美さん（福井県立大学教授)
シンポジウム「在宅介護」今の制度でどこまでできる？
日下部雅喜さん（大阪社保協介護保険対策委員長)
渡辺順子さん・渡邊令江さん・瀬能邦子さん
2019 年　講演会『百まで生きる覚悟』って？！
春日キスヨさん（高齢社会をよくする女性の会・広島代表)
講演会「在宅医療」について
中嶋啓子さん（医師･医療法人啓友会理事長･中嶋診療所)
トークセッション「どうする！ 人生 100 年時代
～これからの　わたしの暮らし～」
2020 年　ミニセミナー「介護保険を巡る動き」､「介護職がいなくなる」
結城康博さん（淑徳大学教授)
講演会　「身近に迫りくる介護　なのに、ドンドン使いにくくなる介護保険制度！石田路子さん（社会保障審議会介護保険部会委員)
ミニセミナー「書き残そう！ 大事なことを、遺される人に」
中原さくらさん （税理士)
講演会　「ご存知ですか？今どきのむつきのこと」
浜田きよ子さん（むつき庵代表)
講演&意見交換会「介護保険は持続可能？～コロナ禍後を考える」
堤　修三さん (社福)サン・ビジョン理事長、元厚生労働省老健局長
元大阪大学大学院教授